

令和5年度の協議会の概要を報告します

令和5年度の日黒本町六丁目・原町地区密集市街地総合防災協議会は3回開催しました。協議会では、多様な世代の参加を募っています。地区に生活している方、事業を営まれている方、土地・建物を所有している方等で、街づくりに関心・意欲のある皆さま方のお力をぜひお貸しください。災害に強いまちづくりを一緒に進めていきましょう。

第1回協議会

開催日時 令和5年6月6日（火）18:00～18:50

会場 向原住区センター2階 第1・2会議室

- 議事項目
1. 令和4年度取組等について
 2. 令和5年度取組について
 3. 区からの情報提供

- ・原町一丁目7番・8番地区防災街区整備事業進捗状況
- ・原町一丁目7番・8番地区周辺道路無電柱化の事業説明会の報告
- ・西小山街づくり整備計画の改定について
- ・原町一丁目・洗足一丁目地区46沿道まちづくり協議会に関する事



第2回協議会

開催日時 令和5年10月3日（火）18:30～19:55

会場 向原住区センター2階 第1・2会議室

- 議事項目
1. 立会川緑道について
 2. 令和5年度防災講演会の実施内容について
 3. 区からの情報提供

- ・駅周辺の無電柱化工事について
- ・原町一丁目7番・8番地区防災街区整備事業の進捗状況
- ・46沿道まちづくり協議会の要望書について
- ・公園検討会の経緯報告
- ・私道内の無電柱化の推進（東京都事業）について

「木密地域私道等無電柱化推進事業」
木密地域での震災時における避難や
消火救援活動をより効果的に進める
ために、特に区道等に連なる私道の
無電柱化を推進する事業です。

第3回協議会

開催日時 令和6年2月6日（火）18:30～20:00

会場 向原住区センター2階 第1・2会議室

- 議事項目
1. 令和5年度防災講演会の報告（見開き面参照）
 2. 立会川緑道について
 3. 区からの情報提供
- ・令和5年度の整備実績等の報告
 - ・公園検討会の報告 等

地震による通電火災には感震ブレーカーが有効です。
目黒区では感震ブレーカー設置助成を行っています。
申込は一旦2月末で終了しますが、
新年度4月以降も継続して受付します。
担当：目黒区防災課（5723-8700）



お問い合わせについては、事務局までお願いします。

事務局：目黒区 街づくり推進部 木密地域整備課（担当：田代、飯場、石倉）

〒153-8573 目黒区上目黒2-19-15（目黒区総合庁舎 本館6階）

TEL：5722-9672（直通） FAX：5722-9239 Mail：tosei02@city.meguro.tokyo.jp

目黒本町六丁目・原町地区 街づくりニュース No.60

目黒本町六丁目・原町地区 密集市街地総合防災協議会 発行

新たな公園整備の検討が進みました

目黒本町六丁目・原町地区では、地区内2箇所での公園整備を進めるために、今年度、近隣の皆さまとの検討会を重ねてきました。木密地域では、災害時での防災上の不安や課題を改善するために、老朽建築物の建替え促進や公園・広場整備を進めています。公園・広場は、防災性の向上のみならず、子どもから高齢者まで憩える場であり、地域コミュニティ活動の場にもなり、地域の資産ともいえます。

公園・広場の整備には、土地・建物の権利者のご協力が必要です。目黒区は不動産価値が高く、相続されるタイミングなどで事業者等へ売却されるケースが多くあります。今回整備される箇所は、数年かけて、権利者やご家族と区が話し合いを重ね、この地域に愛される場に活用してほしいという思いからご理解をいただき、公園用地として区の買収が実現しました。

目黒本町六丁目10番地（約508㎡）



整備イメージ

元々は診療所で広いお庭がありましたが、長く空家となっていました。所有者は他区にお住まいでしたが、投函された街づくりニュースを見て区へご連絡くださいました。

検討会で出された意見をふまえ、以下の公園のコンセプトやゾーニング、基本方針を決め、整備計画（案）を提示しました。

基本方針

- ・土や草花、生きものを身近に触れ既設の変化を感じる
- ・子どもから高齢者まで誰もが楽しめ、憩える場
- ・防災機能を有し、誰もが安心して利用できる空間

洗足一丁目24番地（約55㎡）

補助46号線整備にともなう道路拡幅後の残地を広場用地にご協力いただきました。



整備イメージ

検討会で出された意見をふまえ、以下の基本方針を決め、整備計画（案）を提示しました。

広場整備の方針 「ふれあい広場」

整備の考え方

- ①防災性の向上
- ②地域コミュニティ活動の場
- ③みどりの創出
- ④ユニバーサルデザインによる施設整備

令和5年度防災講演会を開催しました

令和5年度防災講演会は、令和5年11月23日（木・祝）に開催。向原小学校体育館及び校庭にて、自由参加型で開催しました。参加者50名超！講師は昨年度の「クラフトビレッジ西小山」と同じ星野諭さん、同様のプログラムをふまえ、体育館をフルに活用した防災×遊びの場を実践型レクチャーで展開しました。今年度はさらに、目黒消防署の消防士さんと目黒消防団第8分団の団員さん達によるレクチャーや消火器訓練も実施しました。

命を守るかんたんぼうさい術

防災サバイバル術

実演型レクチャー & 体と手を動かして学ぼう！



①被災地の避難所の話

赤ちゃんが泣いてもよい場所、女性が安心できる工夫、遊びで回復する子どもたちの心、避難所に100回以上通ったカービーの実体験に基づくお話でした。

②ジジ地震だゲーム

頭で理解するだけでなく、グラグラッと来たら無意識に行動できることが大切。友だちにも伝えて遊びの中に取り入れよう。危ないものから離れる、頭と肺を守るにはどうすればよい？

③靴をつくって脱出

固いもの（新聞、雑誌、本、ダンボール）＋濡らさない工夫（ビニールでおおう）

④低体温症（水は身体から熱を奪う）にならない工夫

宮城県石巻市で小学生が屋根の上でプチプチで体を保温し一晩しのぎました。知恵と工夫の実話です。

⑤だっこおんぶ術

赤ちゃんは前だっこ、歩ける位の幼児はTシャツおんぶ。いずれも両手を空けることが、災害時には大切です。

⑥簡易担架 みんなで協力すればシート1枚でもできる！！

⑦火災の対応

広い場所はどこ？家族であらかじめルールを決めておこう。デジタルのみでなく、貼り紙ツールも活用しよう。

⑧災害時のトイレ 被災直後のトイレは使わないで！

非常用トイレはビニール二重で衛生を保つ。吸水ポリマーは大活躍です。



②だんご虫ポーズ

「カービーのムゲンあそび」のチャンネル動画



ジジ地震だゲーム

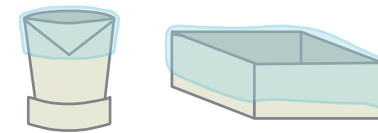


⑤抱っこおんぶ術



⑥救出救助：布1枚の簡易担架で協力して救助

⑨紙で食器をつくる ここでもビニールが活躍



⑩段ボール椅子・ベッド 中に三角を作って強度を高めます。子どもたちは興味津々でした。



東日本大震災時のガレキ物で作った道具

「知識」で覚えるのではなく、原理原則を知ること、被災時に慌てず対応ができます。身近にあるものを工夫して利用する・作る・活用する。

目黒消防団第8分団のお話

阪神淡路大震災から29年、関東大震災から100年ということで、淡路島を訪問・視察しました。現実的には消防団は地域の全員を助けることはできないので、それぞれがまず自分の身を守ることが大切です。

第8分団は現在20名の団員がいますが、本来は40名程いた方が助かります。SNSやホームページで活動を発信する努力をしていますが、なかなか広がらないことが課題です。

（右記QRから活動の様子を見てね！）

パネル展示・あそび道具



東京都から提供いただいた防災に関するパネル展示と動画上映



第8分団ウェブサイト



Instagram



自分なりに工夫して使う遊び道具

目黒消防署 消火器体験指導



いざというときに慌てずに使えるように 訓練用の水消火器で放水体験